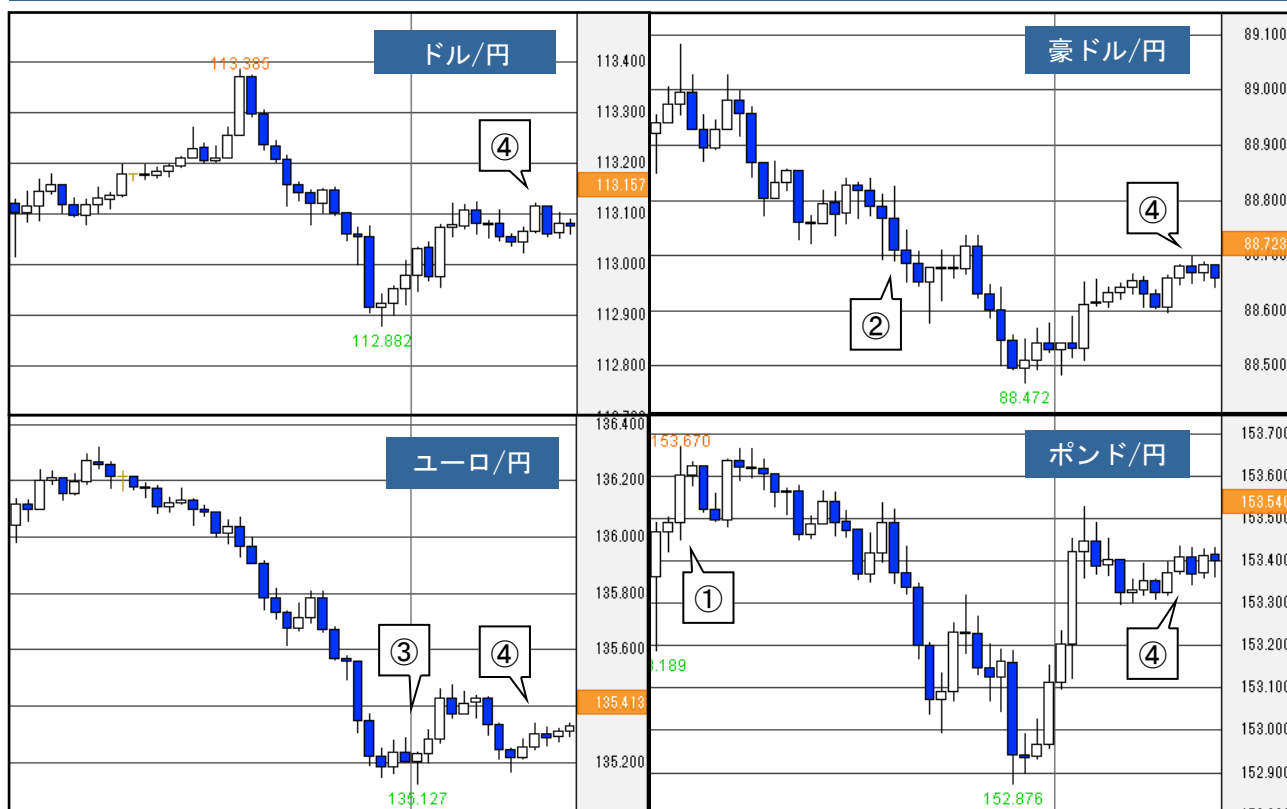


1月9日(火曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 株価動向を注視

### 8日(月)の為替相場



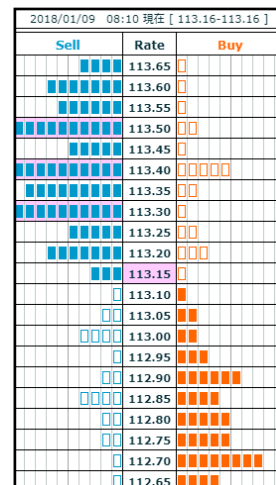
期間：8日(月)午前7時00分～9日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 前日の報道で、英国のメイ首相は、閣僚のスキャンダル発覚や辞任などを受けて内閣改造を行う方針を決めた事が明らかとなった。市場はこれをポジティブに捉えてポンドが買い優勢でスタート。ポンド/円は一時153.670円まで上昇して2016年6月以来の高値を付けた。
- ② 原油や銅などの国際資源価格が弱含む中、豪ドル売りが優勢となった。なお豪政府は2018年の鉄鉱石価格が、世界的な供給増加と中国の需要鈍化を背景に前年の水準を20%下回るとの見通しを示した。
- ③ 英内閣改造を好感したポンド買い・ユーロ売りの影響からユーロ/円が下落。前週のユーロ高の反動もあって、一時135.10円台まで弱含んだ。
- ④ 米メディアは、トランプ米大統領が近く米連邦準備制度理事会(FRB)副議長の人選を発表する見通しと報じた。これまで、ローレンス・リンゼー氏やモハメド・エリアン氏などが候補として挙げられていた。また、他の米メディアはトランプ米大統領が、ロシアゲート疑惑を巡り数週間以内に当局の聴取を受ける可能性があるとして報じた。いずれも、市場への影響は見られなかった。

8日(月)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
休場	6130.373 △8.025	3409.479 △17.729	7696.51 ▼27.71	13367.78 △48.14
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25283.00 ▼12.87	休場	2.651% △0.013	1.236% ▼0.008	0.431% ▼0.008
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.9579% ▼0.0019	2.4800% △0.0037	61.73 △0.29	1320.40 ▼1.90	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.600-113.600	134.700-136.000	88.100-89.100	152.800-154.200

【ドル/円】

昨日のドル/円は、113円ちょうどを挟んで方向感なくもみ合った。一時113.30円台に上昇して前週高値を僅かに更新したが勢いは続かず失速。その後112.80円台へと反落するも一目均衡表の雲や転換線などが集まる日足チャート上の重要ポイントを前に下げ渋ると113円台を回復した。ドル/円は本日も手掛り材料を欠く中で方向感が定まりにくそうだ。ただ昨日は、年明け後一斉にロケットスタートを切った主要国株式市場の多くで上昇が一服した。それだけに、本日は株価動向に注目しておきたい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/9(火)	09:30		(豪) 11月住宅建設許可(前月比)	+0.9%	-1.3%
	16:00		(独) 11月鉱工業生産(前月比)	-1.4%	+1.8%
	16:00		(独) 11月貿易収支	+189億EUR	+213億EUR
	16:00		(独) 11月経常収支	+181億EUR	+253億EUR
	19:00		(ユーロ圏) 11月失業率	+8.8%	+8.7%
	24:00		(米) カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁、講演	—	—
	27:00		(米) 3年債入札(240億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。